

日中はまだ暑さが残っていますが、朝晩、めっきり涼しくなりました。この時期は一年中で最も過ごしやすい時です。読書の秋、食欲の秋、〇〇の秋と、秋という季節を堪能するときでもあります。

さて、本校のホームページについて「他校さんのホームページと比べ、かなり更新されていますね。学校生活の様子がよくわかりますよ」と時折お褒めの言葉をいただくことがあります。とくにブログの更新に感心される方が多いようです。授業の様子、クラブ活動の様子、行事やさまざまな活動の様子について写真と文章から、生き生きとした生徒の表情が見えるのでしょう。

〇〇の秋。ブログを通じて生徒の秋バージョンの様子をどうぞ見守ってあげてください。(写真は英語授業の様子)



生徒と共に学び、成長する

本校では、昨年度「協創ルーブリック」を作成しました。これは「グローバル・イノベーション・リーダーの育成」という教育目標の達成のために、「4つの力」(探究型学力、協創する力、社会参画する力、自己実現する力)がどの程度身についているかという到達度を生徒自身が測る指標です。また、これに基づいた「教科ルーブリック」も整え、教科学習における学びの到達度を生徒が自己評価する指標も準備しました。生徒主体の授業を形成していく際に、これらの評価指標は重要な観点となっていきます。

先日、中学校のブログに本校教員が書いた以下の記事がありました。

連休中に日本列島を横断した台風14号も去り、朝夕の冷え込みに秋の訪れを予感する季節となりました。本日は中学1年生の英語の授業にお邪魔してきました。「教科ルーブリックに基づくパフォーマンス課題を設定した授業を行うので見に来て欲しい!」と、教科担当者から話がありました。

「Which do you～?」を用いた英語表現を自分で考えることが本日の目標です。生徒は全員が1時間の間に「Which do you～?」を用いた英文を作成し、Google スライドで編集したものを利用して発表を行いました。授業の最後には自己評価(振り返り)シートに記入し、繰り返し振り返りを行うことで自分の成長を「見える化」することが目的です。終始和やかな雰囲気です授業が行われていました。

「天高く、馬肥ゆる秋」。本日の青空に手が届くくらい高く、生徒と共に成長していきたいと改めて感じた一日となりました。[\(2022年9月21日中学ブログより\)](#)

こうした授業が繰り返されることによって、生徒主体の授業が形成され、生徒の能動的な学びの幅が広がっていきます。また、本校はすべての学びに“ICT

を活用“することを目標としています。協働学習や個別学習などにおけるICT機器の活用と「ルーブリック」の運用によって生徒の主体性をより鮮明にしていきたいと願っています。

そのような生徒の学びを支え、促すためには、教員のマインドセットとスキルアップが不可欠です。ホームページにもすでに掲載していますが、それをカタチにしたのが下記の「目指す教師像」です。

生徒の成長のために、共に学び続ける先生



目標達成に向けて、日々努力を重ねています。しかしながら、志途上、十分とは言えない側面もあります。そのため、月1回の研修を通じて再認識したり、時折我々の動向の現在地を確認したりすることで、一端目標に立ち返るようにしています。

〇〇の秋。我々はこの〇〇に何を入れましょうか。あえて入れるなら、「メタ認知」でしょうか。そこから一歩二歩と前進していきたいものです。